

公益社団法人世田谷区シルバー人材センター

生涯現役を目指して日々活動されている皆様、こんにちは。今日は世田谷区シルバー人材センター（以下「シルバー」又は「センター」という。）について、紹介をさせていただきます。センターは昭和53年7月に「世田谷区高齢者事業団」として発足し、その後、平成2年に「社団法人シルバー人材センター」と名称変更、平成23年4月に公益社団法人の認定を受け、現在に至っています。

センターは、世田谷区や区内のご家庭・民間企業などから高齢者に相応しい臨時的・短期で軽易な仕事を受注し、会員に提供する組織です。就業した会員には配分金というかたちで報酬を支払います。会員は就業を通じて、生きがいを見つけ、生涯現役を目指して、高齢化の進む社会の中で、活力ある地域社会づくりのために活動しています。

本部は世田谷線の宮坂駅前（平成29年1月まで用賀に仮移転中）、支部が烏山（蘆花公園の隣）にあり、登録会員数は本年10月末現在3063名（内訳男2112名・女951名）で、都内でも大きな規模の人材センターの一つです。

「シルバー」というと、駅前の自転車等駐車場の管理、植木剪定、公園清掃、除草などのイメージが強いと思いますが、それ以外にも、公共施設の管理や家事援助、シルバーパスの更新事務、学童の通学路の見守りなど、さまざまな仕事を受注しています。特に最近では、高齢者の生活支援サービス（支え合いサービス）や学童見守りという地域に密着した仕事を受注し、世田谷区や社会福祉協議会などと連携して地域活性化のための活動に力を注いでいます。

また、センターは仕事を受注して会員に提供するだけでなく、会員の特技や専門知識を活用して、「パソコン教室」や「カルチャー教室」、「包丁研ぎサービス」などの独自事業も展開しています。

更に、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。地域におけるボランティア、東京マラソン、多摩川花火大会後の河川敷の清掃活動などには毎年多くの会員が参加していますし、会員ボランティアによって運営されている「あったかサロン」（用賀ワークプラザで週2回実施）は、地域の高齢者の方々の憩いの場となっています。

高齢化が急速に進む状況の下、シルバー人材センターの果たす役割は年々大きくなり、また、センターへの期待度も増えています。一人でも多くの方にシルバー人材センターにご登録いただき、「自主・自立」「共働・共助」の旗印のもと、ご自身の能力を地域社会のために役立てていただきたいと思います。心より入会をお待ちしています。入会手続きなど詳細はホームページをご参照ください。



会館の受付5時以降はシルバーの就業会員

和紙ちぎり絵 “彩の会”

日本伝統の和紙の風合いと美しさを使って指でちぎり、花や風景などを絵に仕上げます。厚生会館を初めとして15年間、今はひだまり友遊会館で、サークルとして会員20名、和気あいあいと月1回楽しんで過ごしております。年1回の老人週間の展示会では、1年間に制作した作品の展示、また実演と体験コーナーもしております。私は世田谷区社会福祉協議会の特技ボランティアに登録しておりますので、ミニデイ、デイホーム、老人ホームなどにも出向き、皆様と楽しいひとときを過ごしております。

「入会ご希望の方」

第4月曜日 10時～12時（午前の部）

13時～15時（午後の部）

連絡先 03-3411-3284

（18時以降にお願い致します）

講師 根本 文乃（ネモト フミノ）

